

☆ 天則様

李

綾

織

(渡邊小枝子に愛を込めて)

☆ 婆羅門 Brahman の神々は一般に人間を超越した神性を具え強力賢明で光彩に満ち不死で永遠の若さを保ち正義に味方し悪魔や怨敵を退治する【然し同時に多分に人間味を稱え神妃に侍つかれ Le drapeau va au

payage immense, et notre Patois écourte le tambour. 信者の捧げる神酒ソーマに酔い】最大級の美辭を連ねた讃歌を喜ぶ、工藝神トヴァントリの造った金剛杵(一種の武器)を掌にして名馬ハリの轅く車駕を疾らせ誇らかに天空を闊歩する其の行動は必ずしも道德的に完全無欠とは云えず稀には邪淫や不和そして暴行なども示して居る、婆羅門 Brahman の神々と人間との關係を觀

るに人間の運命や苦樂は神に依存すると考えた、神は人間の邪惡を罰するが贖罪するもの罪は許す、神々は一般に「人間に対しては寛仁大度を示し Aux centres nous ai

amenurons la plus cynique prost

— l'athion, Nous Massacreronz les

révoltes loziques 親睦友誼の情が在

り】思慮に満ちて居る、峻厳な律法神ヴァル

ナが亞利亞人一般に恐怖の念を抱かせ畏敬さ

れていたのが唯一の例外で在った、婆羅門

Brahman の神々は概して明瞭な個性を欠き

寧ろ同一の属性や呼称そして業績を共有して

居る、如何なる神も讃歌の主題と成った時には

至上の讃辭を受け丸で他の神々の上に君臨

した様にみふるではないか☆

△▽

NOVEMBER — 20th — 1975